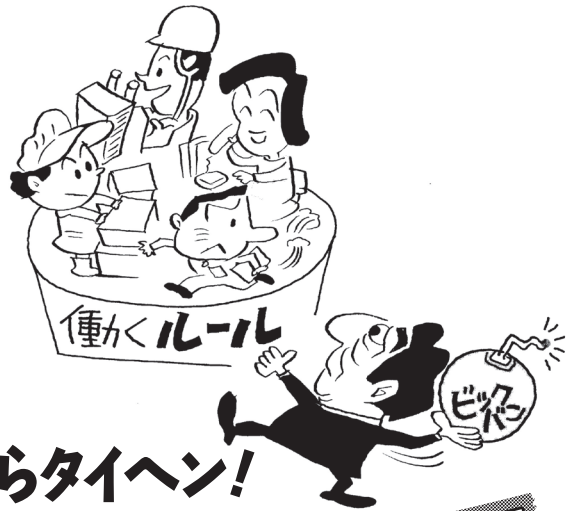


安倍内閣による 働くルールの破壊許すな **STOP!** 解雇自由化 残業代ゼロ

安倍内閣・自公連立政権は、財界・大企業の言いなりになって、労働法制の「規制緩和」、働くルールの大改悪を進めようとしています。「解雇自由」の原則化や金さえ払えば解雇できるようにする「解雇金銭解決ルール」の導入、残業代を払わなくて済む「ホワイトカラーイグゼンプション」の導入をはじめとする労働時間規制のいっそうの緩和、有期や派遣などの不安定な雇用のさらなる拡大などが狙われています。いずれも日本の労働者の働くルールの根幹を破壊する内容であり、絶対に許してはなりません。



こんなことになったらタイヘン!

不安定雇用拡大



残業代ゼロ



賃金の改善
雇用の安定こそ
デフレ不況脱却の
確かな道

安倍内閣が設置した「規制改革会議」では、「正社員改革」と称する「正社員の限定と多様な雇用形態の創出」＝「『限定正社員』の雇用ルールの整備」を、最優先検討事項に挙げています。これは、正規雇用を大幅に減らして、解雇しやすい不安定な雇用をいっそう増やそうとするものであり、絶対に許してはなりません。安倍内閣は「デフレ不況からの脱却」を最大の課題としていますが、こうした労働法制の大改悪の動きはそれと大きく矛盾しています。労働者の賃金の改善と雇用の安定こそが、不況打開のもっとも確かな道であり、安倍内閣のねらう労働法制の大改悪は不況をいっそう深刻にし、日本経済の困難をますます拡大してしまいます。

お気軽に電話して下さい

秘密厳守
相談無料

労働相談ホットライン

フリーダイヤル
0120-

378-060



全労連・労働法制中央連絡会

全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4

TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620

http://www.zenroren.gr.jp